

クロストーク

若手職員座談会

4人の若手職員に日々の仕事や職場の雰囲気など、松江地方法務局について語ってもらいました



青木 aoki

H29年度採用

会計課

卒業学部：文学部

重永 shigenaga

H26年度採用

訟務部門

卒業学部：法学部

那須 nasu

H28年度採用

戸籍課

卒業学部：工学部

島根 shimane

H30年度採用

総務課

卒業学部：法学部

Q.現在の仕事について教えてください

青木 私は現在会計課に所属しています。職員等からの要望に応じた品物を購入し、システムを利用して支払処理や管理をしています。

重永 私は訟務部門で、国を当事者とする訴訟の代理人として、裁判所に対する申立てや主張・立証などの活動を行っています。法律に基づいた書面の作成や関係行政庁との打合せなどを行い、実際に法廷に立つこともあります。

那須 私は戸籍課に所属していますが、今は主に国籍に関する事務を担当しています。外国人が日本の国籍を取得しようとする場合の帰化に関する事務や、届出による国籍取得に関する事務などを行っています。そのほかにも、戸籍に関する照会対応や市町村の戸籍事務担当者を対象とした研修の講師なども行っています。

島根 私は総務課の庶務係で、職員の出張に係る事務や情報公開事務を担当しています。

Q.なぜ法務局を選びましたか

重永 両親が公務員であったこともあり、私自身自然と公務員を目指すようになりました。業務説明会に行った官庁の中で、説明者の人柄の良さが印象的だったことや、幅広い業務を取り扱っていることで国民のライフワークに合わせて役立つ仕事ができると感じ、法務局にしました。

那須 様々な官署がある中で、自分にはどのような職種が合っているのか迷っていました。そんな中、業務説明会で、法務局に戸籍、登記、人権擁護事務など様々な分野の業務があることを知り、多くの業務が経験できることに魅力を感じたからです。

青木 私は不動産登記や人権擁護事務に関心があり、専門的な知識を身につけたいと思ったからです。また、何度か説明会に参加してみて、職場の雰囲気の良さが印象に残り、法務局に決めました。

島根 説明会に行って肌で感じるというのは大切ですよね。私も合同説明会で法務局という職場を知り、大学で学んでいた法律もいかせるのではないかと思います、志望しました。



Q.法務局に入る前に不安はありましたか

青木 私は大学時代、文学部に在籍していたので、法務局と聞くとやはり法律に詳しくないと駄目なのかなと思ったりもしました。工学部出身の那須さんは入る前と入った後ではどうですか？

那須 私も法学部ではなくて、法律のことはあまり詳しくなくて少し不安でした。でも、研修が充実しており、先輩や上司が優しく教えてくれるので今では不安はなくなりました。

Q. 仕事をする上で心掛けていることは？

青木 効率的な処理方法を考えたり、様々な業務に関心を持ったりしながら、業務を円滑に行えるように心掛けています。

重永 私は、訴訟対応において、裁判所や行政庁など多くの関係者と電話やメールを利用し、訴訟事件についてのやり取りをすることがよくあります。そこでのやり取りは、自分の中だけにとどめず、常に職場内で情報共有するよう心掛けています。

那須 業務の中で疑問に感じたことはしっかりと確認すること、分からない点と関連するところも調べるように心掛けています。自分で調べて分からないところは曖昧にせず上司に相談するよう心掛けています。

青木 自分で調べるのも成長する上では大事だと思うのですが、やはり分からないことは先輩や上司に聞くのがいいですね。コミュニケーションにもなると思います。私は入った頃は聞くのが恐れ多くて戸惑ったりもしましたが…（笑）。皆さんはそんなことなかったですか。

島根 入ってみたら、とても話しやすくて気さくな上司が多いと感じましたね。お堅いイメージがあったのですが、いい意味でギャップがありました。私はこまめな報連相（報告・連絡・相談）と、一度立ち止まって考えることを意識して仕事をしています。特に情報公開事務では、請求者という一般の方を相手にするので、間違った事務処理をしないよう、確認を徹底しています。



Q. 休みや残業について教えてください！

那須 年次休暇や育児休暇、介護休暇などが充実しているので、結婚や出産後も働きやすい職場だと思います。休日や仕事終わりはしっかりと自分の時間を確保することができるので、次の休みは何をしようかと考えることでモチベーションアップにもつながっています！私は毎月必ず1日以上は休みを取っています！

青木 私も休暇は取りやすい職場だと思います。おかげで仕事とプライベートの予定が立てやすく助かっています。

重永 私の仕事でいえば、裁判所に提出する書面は提出期限が決まっているため、その期限に向けて必要であれば残業をすることはあります。ただ、それ以外の期間については、定時退庁ができるので非常にメリハリのある職場だと思います。年次休暇はもちろんですが、夏季休暇、育児休暇など様々な休暇制度が存在し、加えて、土日の前後に連続2日間の年次休暇を取るプラスツー休暇の取得も推進されているので、非常に休みを取得しやすい環境が整備されていると感じています。

青木 やはりどこの部署に行っても繁忙期というのはあるので、多少の残業は仕方ないですね。ただ、上司が率先して帰ろうとしたり、「帰るぞー！」って言うてくださったりするので、非常に助かっていますね（笑）。

島根 最近でいえば、局長と次長が定時退庁日に放送で早く帰るように呼びかけて、歩いて回ったりしていました。今の私の仕事では、休暇を取得する日を逆算して仕事をする必要があるため、メリハリもつきます。休暇自体も取得しやすく、夏季休暇と併せてまとまった休みも取得できます。令和元年には、夏季休暇を利用して、海外旅行をしました。

Q. 職場はどんな雰囲気ですか

重永 国の裁判に関わる職務のため常に緊張感が絶えない職場という印象がありました。しかし、実際にはメリハリをつけて仕事に取り組んでおり、困ったときには上司にサポートしてもらうなど気軽に相談できる雰囲気の職場だと感じています。1つの訴訟事件をみんなで関わっていくことからチームとして協力する意識が根付いていると思います。

那須 とても和やかな雰囲気です。皆さん優しいので気軽に質問や相談、話がしやすい職場です。分からない点に関しても、一人で悩むのではなく職場で議論を交わしながら取り組んでいます。

青木 私はもともと内気な性格なんですが、先輩や上司に相談等がしやすいなと感じています。先輩や上司からも仕事の進捗状況などを気にかけてくださるので、心強いです！

島根 オンオフのしっかりしている職場だと思いますね。たまに冗談が飛び、笑いが起きたりもします。分からないことも聞きやすく、とても良い雰囲気で仕事をしています。



Q. 最後に、学生に向けてメッセージをお願いします！

青木 法務局では国民の暮らしを支える仕事をしていますが、学生にとってはなじみのない官庁で、分からないこともたくさんあるかと思います。法務局の業務説明会に参加し、いろんな人の意見を参考にして、興味を持ってもらえるとうれしいです。

島根 法務局は国民生活に密接した業務を扱っており、国民生活を支えているという意識がやりがいとなります。ぜひ、法務局がどんな業務を行っているかを知ってもらって、さらに興味を持っていただき、志望先の候補にしてほしいと思います。

那須 法務局は活躍できる業務がたくさんある職場です。研修制度も充実しているので法律を学んだことがない人でも心配いりません（私もそうでした…）。少しでも気になった方はぜひ業務説明会や官庁訪問に来てみてください。

重永 法務局の業務説明会などに参加して法務局の仕事を知り、職場の雰囲気を感じてみてください。きっと法務局の魅力を感じてもらえると思います。同僚として皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています！